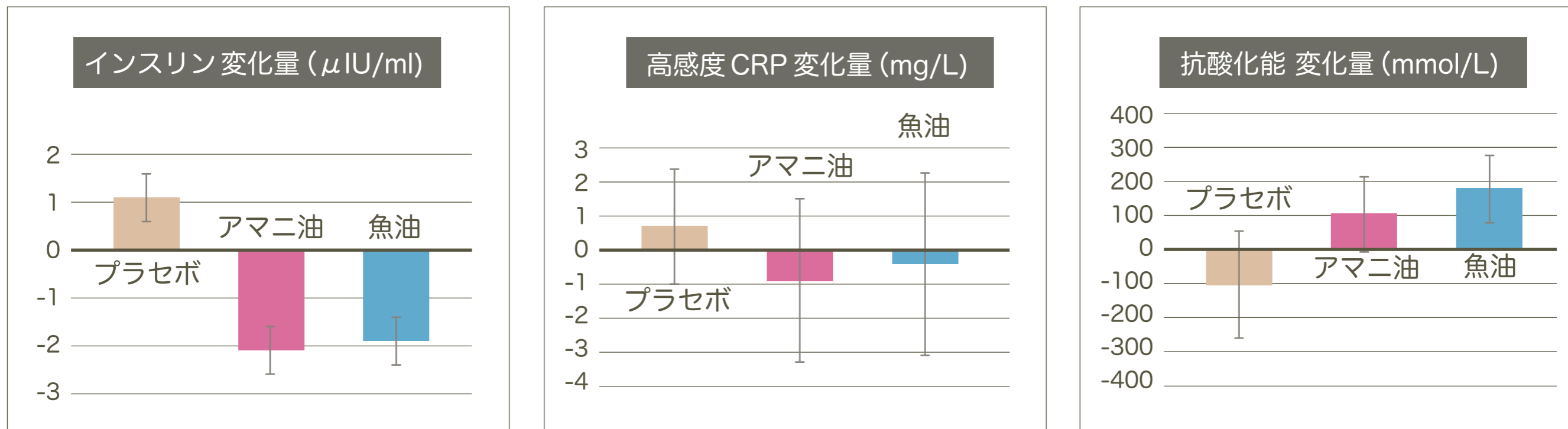


図 12週間の臨床試験後の血中検査値の変化



冠動脈心疾患を伴う2型糖尿病患者に対して、12週間、アマニ油、魚油、プラセボのいずれかを投与した後の血中検査値(インスリン、高感度CRP、総抗酸化能の変化量)プラセボ群に比べて、アマニ油群及び魚油群ではインスリンが有意に減少、抗酸化能が有意に上昇した。また、高感度CRPはプラセボに対してアマニ油群で有意に減少した。